

で多くの方々にご支援、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。また、全国各地より大阪にお越しいただき、本学術総会を盛り上げていただきました参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。加えて、ご支援いただきました大阪支部の役員の皆様、開催に際して後援をいただきました各種関連団体、展示や広告、セミナーなどに協賛いただいた企業、そして最後に青色のユニホームに身を包み、一致団結して学術総会運営に尽力していただいた当院スタッフならびに関係者の皆様にも、この場をお借りして感謝申し上げます。

今回の学術総会が皆様にとって有意義な機会であったことを切に願うとともに、今後の日本医療マネジメント学会の益々の発展を祈念し、第17回日本医療マネジメント学会学術総会の開催報告とさせていただきます。来年は福岡の地にて、再び皆様にお会いできることを楽しみにしております。ありがとうございました。

### 第16回日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して 昭和大学大学院保健医療学研究科 上條由美



第16回日本医療マネジメント学会  
学術総会会長賞表彰式

この度は、荣誉ある第16回日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞させていただき、青山興司学術総会会長、宮崎久義理事長および関係者の皆様に心から感謝申し上げます。この論文

は第15、16回の学術総会で発表した内容を、全員がチームとなってまとめた論文なので、メンバーの思い入れも強く、この論文で受賞できたことを本当にうれしく思います。

大学病院で時間外選定療養費を導入することを決断した際には、夜間救急外来を受診できなくなる患者がでてしまうのではないかと心配の声があがりました。第15回に発表した時には、選定療養費を導入している施設はまだ少なく、会場からたくさんの質問がきて議論となりました。「この選定療養費は、収入増のために徴収しているわけではなく、本当に診察しなければならない患者とそうでない患者を区別するために導入しています。」と説明しました。近年、厚生労働省は、200床以下の病床でも選定療養費制度を導入して負担金を徴収する仕組みの検討をはじめています。選定療養費については、まだ議論することが多く残されているかもしれませんが、今回の受賞を糧に、こうした医療制度改革とともに、質の高い医療を必要な患者に提供するためにどうするべきかを、今後も学問的に追及していきたいと考えています。

### 第16回日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して 飯塚病院 佐野 美和子



第16回日本医療マネジメント学会  
学術総会会長賞表彰式

このたびは、第16回学術総会会長賞という名誉ある賞をいただき、第16回学術総会の青山興司会長、本学会の宮崎久義理事長ならびに関係者の皆様に御礼申し上げます。

私達の論文は、第16回学術総会にて発表した「PDCAを組み込んだAIH-RCAシートの作成」をまとめたものです。インシデント事象に対して現場が素早く短時間で取り組めるように、問題を重点思考で絞り、プロセスを重視した根本原因から、対策立案、実施、評価で完結するAIH-RCAシートを作成し、現場の安全推進者を中心に教育を行いました。

最も重要な源流のエラープロセスの根本原因を明確にすることで、根拠のある対策立案が可能となり、現場でPDCAがまわる仕組みです。部署内で繰り返し活用しPDCAを何度も回して経験を積み、新しいプロセスの導入や既存のプロセスの改善にもつなげることが出来ると思います。今回の受賞を励みとして、今後も組織の安全文化の醸成と医療の質の向上に寄与できるよう努力していきたいと思っております。ありがとうございました。

## 開催報告

### 支部学術集会

#### 第15回大分県支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構別府医療センター副院長 酒井浩徳



会場風景

2015年2月21日(土)、別府市国際コンベンションセンターB-Con Plazaにおいて第15回大分県支部学術集会を開催いたしました。「地域完結への step by

step ～切れ目のない医療のつながりを目指して～」をメインテーマに、特別講演1題、シンポジウム1題、ランチョンセミナー1題、一般演題30題(口演29題、ポスター1題)の発表が行われ、162名のご参加をいただきました。

特別講演では、ITを用いた地域医療ネットの先駆けであり、10年以上が経過した現在では、カバーする地域がほぼ長崎県全域に広がっているあじさいネットの理事で、